デザイン経営導入促進セミナー

小樽市民、学生、地域づくりに関わる皆さまへ

あなたの好きな「小樽」はどんなまちですか？

好きな小樽、残したい小樽
―小樽のこれまで、これから

日時 2026.11.23（月・祝） 14:00-16:15

会場 小樽市民センター マリンホール（小樽市色内2丁目13-5）
※周辺の有料駐車場、またはできる限り公共交通を使用してお越しください。

参加無料
事前申込制

小樽の魅力は、運河をはじめとする歴史ある街並みだけではありません。
この町で紡がれてきた歴史や文化、そして人々の暮らしの中に、今も大切に守られているものがたくさんあります。

このセミナーでは、小樽が歩んできたこれまでを振り返りながら、「これからも紡いでいきたい、この先もこうありたいまち」について考えます。

小樽と同じく港町として発展し、歴史や暮らしそのものが人々を惹きつけてきた長崎の取り組みをヒントに、世代や立場の異なる登壇者とともに深めていく時間です。

定員 100名（先着順）　**参加料** 無料（事前申込制）

申込方法

❶2次元コード・Webフォーム　❷メール
のいずれかからお申し込みください。

2次元コード

Webフォーム https://forms.cloud.microsoft/r/0RKBBiefFm

メール
［件名］小樽
［本文］氏名 / 電話番号・メールアドレス
［宛先］brand@htri.co.jp

申込締切 11月20日（金）12時
※定員に達した時点で募集を終了します。お早めにお申し込みください。

主催 経済産業省北海道経済産業局
共催 (一社)小樽観光協会
後援 小樽市・小樽商工会議所・北海道知的財産戦略本部

運営・お問合せ (株)北海道二十一世紀総合研究所（担当：清家・高松・柚木）
011-231-3053　brand@htri.co.jp

プログラム・登壇者のご紹介

14:05 話題提供

「暮らしの良さをつくり、伝える観光」

●(株)インプロバイド　小林 元 氏

14:25 事例紹介

「(仮)まちの『すき』を
どう見つけてきたのか
– 長崎で重ねてきた地域との対話」

●(一社)ナガサキベイデザインセンター
梅元 建治 氏

15:05 話題提供

「(仮)小樽は、どうつくられてきたのか
– 住民と地域が支えてきたまちの歩み」

●元･小樽市総合博物館 館長　石川 直章 氏

15:20 トークセッション

「好きな小樽、残したい小樽
– 小樽のこれまで、これから」

話し手

●(一社)ナガサキベイデザインセンター
梅元 建治 氏

●元･小樽市総合博物館 館長　石川 直章 氏

●Otaru Next100 実行委員会　後藤 悠斗 氏

進行 (株)インプロバイド　小林 元 氏

16:15 閉会



(株)インプロバイド
代表取締役　**小林 元 氏**

1983年札幌生まれ。2007年にIMPROVIDEを創業し、北海道の食と観光･地域そして教育の分野を軸に活動。企業や団体･学校、地域から農家まで、多様な規模のブランドやコミュニケーションを企画し、デザインプロジェクトを先導。専門領域はブランドと知的財産、デザイン経営と観光地域経営。



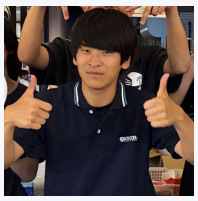
(一社)ナガサキベイデザインセンター
代表理事　**梅元 建治 氏**

1967年長崎市生まれ。長崎大学卒業後、九州芸術工科大学を経て、福岡市の設計事務所にて建築設計や地域計画に従事。父親の急逝にてUターンし、家業の水産加工会社を経営。（財）シンクながさき登録研究員を経て、2010年から現職。地域コミュニティーや景観・歴史を活かしたまちづくりに携わる。現在、長崎居留地歴史まちづくり協議会事務局長ほか。2019年～長崎市議会議員（今年度、長崎市議会・観光まちづくり特別委員会委員長）。



北海道博物館協会 役員
元･小樽市総合博物館 館長 **石川 直章 氏**

1956年浜松市生まれ。同志社大学大学院で考古学･文化史学を学び、北海道各地の発掘調査に参加。小樽市教育委員会、小樽市博物館（現･小樽市総合博物館）で学芸員を務め、2014年から同館館長。現在は、小樽の歴史･文化を長年見つめてきた立場から、地域の魅力や「小樽らしさ」の発信にも携わる。



Otaru Next100 実行委員会
高校生リーダー　**後藤 悠斗 氏**

市内の高校生と連携し、ワイングラスタワー制作や歴史散策・謎解き企画、SNSでの魅力発信などに取り組む。若者の視点で小樽の歴史や景観の魅力を伝え、世代や学校の枠を越えたまちづくりに参画している。

デザイン経営とは、デザインの力を活用して企業等の「らしさ」を見つめ直し、ブランドの構築や新たな価値創出につなげる経営手法です。
2018年5月から、経済産業省・特許庁が推進しています。

URL https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei.html

北海道経済産業局はデザイン経営の導入を推進しています！
デザイン経営は、「自分たちらしさ」を見つめ直し、それを未来の価値につなげていく考え方です。今回は、その視点を「地域」に広げます。
– 小樽らしさとは何だろう。これからも残したい小樽の価値とは何だろう。
そんな問いから、小樽のこれからを一緒に考えてみませんか。



主催 経済産業省北海道経済産業局
共催 (一社)小樽観光協会
後援 小樽市・小樽商工会議所・北海道知的財産戦略本部

運営・お問合せ (株)北海道二十一世紀総合研究所（担当：清家･高松･柚木）
011-231-3053　brand@htri.co.jp